

プログラム名		時 間	約3時間
ねらい	1 カヌーの基礎的な操作方法を学び、自らの力でカヌーを操作する体験を通して、カヌーへの興味・関心を高める。 2 自然保護の心を培う。		
活 動 内 容	1 活動形態 → 一斉およびグループ（最大1グループ6名） ※カヌー最大出艇数 7艇×2グループ＝14艇 カヌー1艇につき引率者1名 2 【「玄海の家」海洋カヌー実施の手引き】により実施する。 （団体は事前に海洋カヌー実施計画書を提出）		
対 象	小学校4年生以上	活動可能人数	最大84名
展 開 例	1 事前打ち合わせ（「玄海の家」海水浴担当者、団体代表者約10分）会議室 ・気象条件、参加人員、参加者の健康状態、活動内容、監視体制、使用ロッカー、海浜集合時刻、隊形等の確認 2 事前指導（団体指導者 約20分） ①着替え （宿泊室・研修室） ②着替え置き （海浜出入口のロッカー） ③準備運動（運動広場） ※キャンプ場利用団体については、着替えはテント 3 カヌー体験（「玄海の家」海水浴担当者、団体指導者 約2時間） ・ライフジャケット着用（15分）→ カヌー運搬（10分）→ 操作説明・諸注意（25分）→ カヌー体験（30分）→ 休憩（10分）→ カヌー体験（30分） 4 事後指導（団体指導者 約30分） ・カヌー運搬（運動広場へ）→ ライフジャケットの水洗い（海浜出入口）→ ライフジャケット干し → シャワー → 着替え（海浜出入口更衣室）		
実 施 上 の 留 意 点	1 事前打ち合わせで確認したこと（人員点呼、集合時刻、監視体制等）は各団体が責任を持って確実に行う。 2 ライフジャケットの着用、カヌーの運搬に関しては引率指導者も手伝う。 3 監視・水域制限ブイの設置等は「玄海の家」と団体が協力して行う。 4 <u>活動中は水泳帽子の着用を厳守する。</u> 5 漕手及び次番手の漕手はヘルメットの着用を厳守する。 6 レクリエーション（すいか割り・砂の芸術等）との併用は不可。 7 紫外線による火傷防止のための着衣（ラッシュガード、Tシャツ等）は着用可。 8 カヌーの活動から海水浴に切り替える場合は、指導担当職員と協議の上実施する。 なお、その場合は【「玄海の家」海水浴実施の手引き】を遵守する。 9 活動中は屋外トイレを使用する。 10 <u>更衣室・ロッカーは指導者が責任を持って最後に点検する。</u> <u>（雑巾を使った乾拭き清掃も含む。）</u>		
引率者の役割	総括責任者（1名）、水際監視（2名 ※2グループで実施する場合は4名） 海中監視（各カヌーに1名）		
「玄海の家」で準備できる物	海洋カヌー、ライフジャケット、ヘルメット、水域制限ブイ、救命用浮き輪 救急医薬品、救急用水		
利用団体で準備する物	タオル、水泳帽子、ビーチサンダル、救急医薬品		